

Ⅱ 平成16年度の事業報告

1. 全体事業の概要

(1) 事業の概要

平成16年度は、平成15年度の事業試行結果を踏まえて、わくプロの本格稼働初年度として次の6事業に取り組みました。

① サイエンスレクチャー

平成16年8月5日に広島市こども文化科学館において、約200人の参加を得て、広島大学先端物質科学研究科鈴木孝至教授を講師としてサイエンスレクチャーを開催しました。

② ジュニア科学塾

8月26日から9月4日までの間に計4日にわたり、中学生12人の参加により広島大学大学院理学研究科大杉教授を塾長としてジュニア科学塾を開催しました。初日の夜ははじめての試みとして合宿を実施しました。

③ 科学塾

8月17日から9月11日までの間に計4回にわたり、高校生12人の参加により広島大学大学院理学研究科大杉教授を塾長としてジュニア科学塾を開催しました。

④ 小学校の先生のための理科ひろば（小学理科ネット）

平成16年5月に、インターネット上での小学校の先生の理科教育の支援のための小学理科ネットの運用を開始しました。

⑤ わくプロ ホームページの運営

わくプロの趣旨、事業概要を説明し、その活動状況を公表するためのホームページを運営しました。

⑥ 共同開発型支援事業の推薦

マツダ財団がわくプロの一環として支援する共同開発型助成事業の助成対象事業について、広島大学科学わくわくプロジェクト研究センターとして、重点課題を設定しそれにふさわしい助成対象事業を推薦しました。

(2) 事業費の概要

平成16年度のマツダ財団から広島大学への奨学寄附金600万円の拠出をいただき、うち5%相当額の30万円を大学管理費に充当し、570万円を直接活動費としましたが、小学理科ネットにおいて、利用状況を勘案して当初予定のシステム増強を見送ったため、事業費約100万円を翌年に繰越すこととしました。

各事業毎の配分額は次のとおりです。詳細は、各事業別の説明をご参照ください。

・サイエンスレクチャー	1, 415, 746円
・ジュニア科学塾	1, 096, 941円
・科学塾	704, 493円
・小学理科ネット	424, 677円
・わくプロ・シンポジウム	179, 380円
・ホームページ管理運営	45, 920円
・報告書印刷費等	472, 500円
・わくプロ運営会議・事務局	357, 420円
小計	4, 697, 077円
翌年度繰越し額	1, 002, 923円